

## 「関西健康・医療創生会議 シンポジウム」の開催結果について

平成 28 年 6 月 26 日  
関西健康・医療創生会議

健康・医療分野を抜本的に革新する重要技術である「人工知能」をテーマとして、企業の経営者や研究者をはじめ、アカデミア、行政関係者の参加も得て、その現状や具体的な応用に関するシンポジウムを開催しました。

### 記

- 1 日 時 平成 28 年 5 月 31 日 (火) 13:30~17:30
- 2 場 所 国立京都国際会館 アネックスホール
- 3 主 催 関西健康・医療創生会議、NPO 法人関西健康・医療学術連絡会
- 4 テ ー マ 医療と健康に貢献する人工知能
- 5 参加者数 320人
- 6 内 容

(1) 挨拶 井村 関西健康・医療創生会議議長 (NPO 法人関西健康・医療学術連絡会理事長)、  
山下 京都府副知事、服部 京都商工会議所副会頭

#### (2) 講演

基調講演：日本医療研究開発機構 (AMED) 末松理事長

特別講演：産業技術総合研究所人工知能研究センター 本村首席研究員

一般講演：国際電気通信基礎技術研究所 森本室長ら 6 名

#### (3) 結果まとめ

- 企業の参加者が 6 割以上、その相当数が研究者、技術者 (約 150 名) だったことから、創生会議への「産業界の参画促進」を目的とした当シンポジウムの開催は成功でした。
- 医療分野の国の研究開発予算を集約化し、重点的・戦略的に配分するため設立された日本医療研究開発機構 (AMED) [H27.4 設立] の末松理事長から、研究開発助成制度の枠組みの新たな構築及び産学官の連携の必要性について、ご講演いただきました。
- アカデミア、企業から最新の AI 技術の動向や研究への応用状況を一同に紹介することにより、ゲノム医学やビッグデータ解析、画像診断などに貢献する AI 技術の重要性、可能性の情報共有を図るとともに、AI 技術の中でも世界的に途上にある健康・医療分野への活用について、関西において取り組んでいく必要性を喚起しました。



(シンポジウムの様子)